

このたびは、新日軽の商品をご採用いただきましてありがとうございます。  
商品の組み立ておよび取り付けには、この施工要領書をよくお読みになり、正しく・美しく仕上げてください。  
この要領書は必ずシーリング作業をされる業者の方へお渡しください。  
障子と同梱されている取り扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

### 組み立て・取り付け上の注意事項

●ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。

施工にあたって必ずお守りください。

- ①玄関引戸以外への使用および改造は行なわないでください。
- ②指定の部品およびオプション品以外のものは使用しないでください。
- ③ねじ止め・釘打ち箇所は指示してあるねじを確実に止めてください。
- ④シーリング(コーキング)は、塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てを確実にこなしてください。
- ⑤組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉動作や施錠が正常に行なえることおよび使用上の不具合がないことを確認してください。
- ⑥引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ⑦施錠した状態で枠と障子本体のチリ寸法が均一であるかどうかご確認ください。不具合がある場合は、確実に建付け調整を実施してください。

### 商品構成

SEFB11720      ※1      ※2<オプション>

枠 + 網戸 + 網戸 + キックプレート + アンカー + グレーチング

※1 障子は、Aタイプ(堅格子)・Bタイプ(横格子)からいずれか1点選んでご使用願います。

※2 オプションは、網戸・キックプレート・アンカー・グレーチングを用意しています。

取り付け・施工に際しては、オプション品に同梱の施工要領書をお読みください。

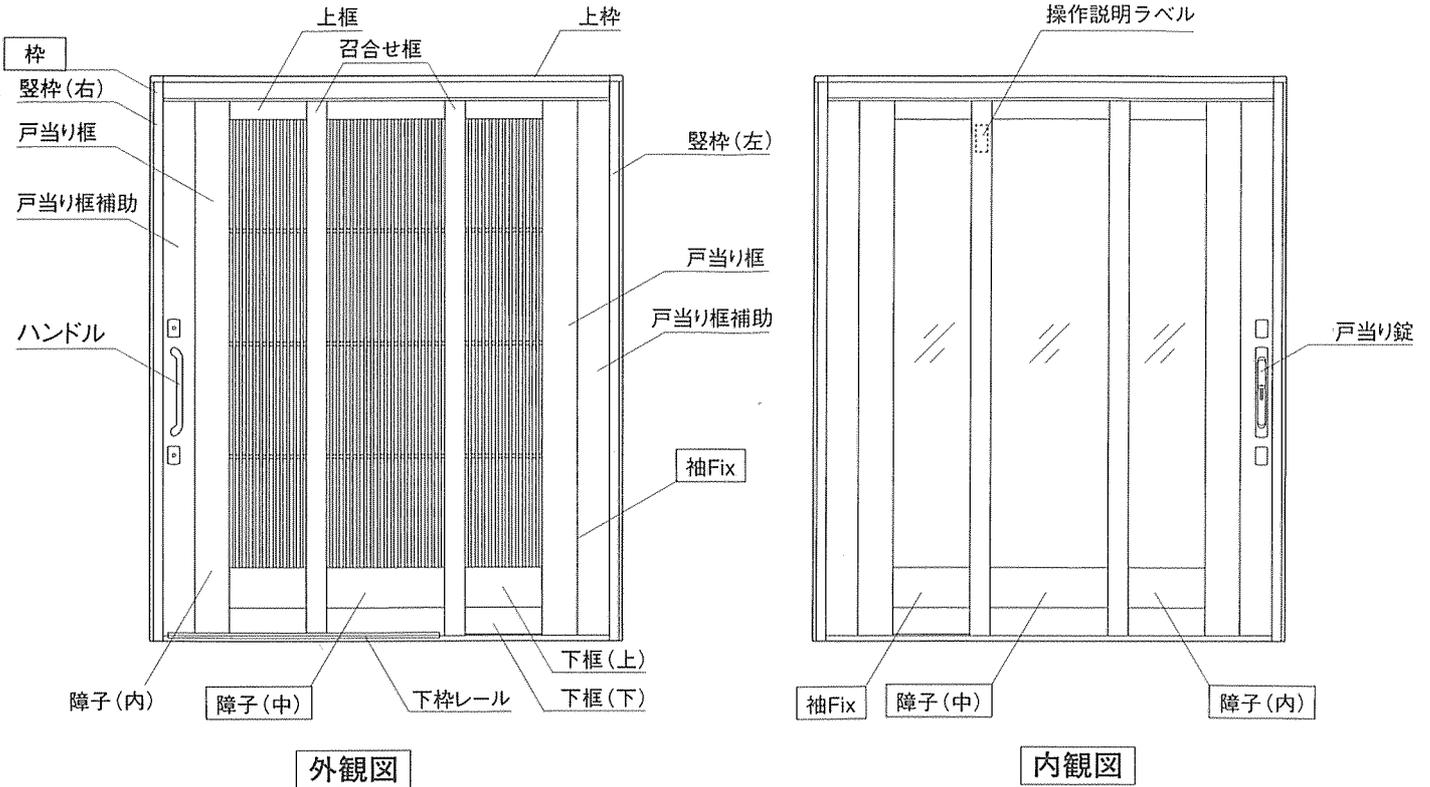
### 梱包内容

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください。)
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または新日軽株式会社までご連絡ください。

枠セット SEFB11720		
区分	名称	数量
部 材	上枠	1本
	堅枠(左)	1本
	堅枠(右)	1本
	目板補助	1本
	目板	1本
部 品	下枠レール	1本
	ホールプレート	11個
	アンカー	4個
	タッピンねじ2種丸 4X25X8G5(枠組み立て用)	6本
	タッピンねじ1種丸 4X10X8(枠組み立て用)	3本
	小ねじトラス 4X20X8(枠組み立て用)	6本
	木ねじ丸 4.1X40X7.6(枠取り付け用)	5本
	木ねじ皿 4.1X50X8.2(枠取り付け用)	6~8本
	カップスクリュー釘 2.1X25X4.9(枠取り付け用)	16~18本
施工要領書	1部	

障子セット SEFOT1720		
区分	名称	数量
部	障子(内)	1セット
	障子(中)	1セット
	袖Fix	1セット
材	押緑	6本
	ガラスビニール	1巻
部 品	ハンドル	1セット
	小ねじ皿 5X40X10(ハンドル取り付け用)	2本
	取り扱い説明書	1部

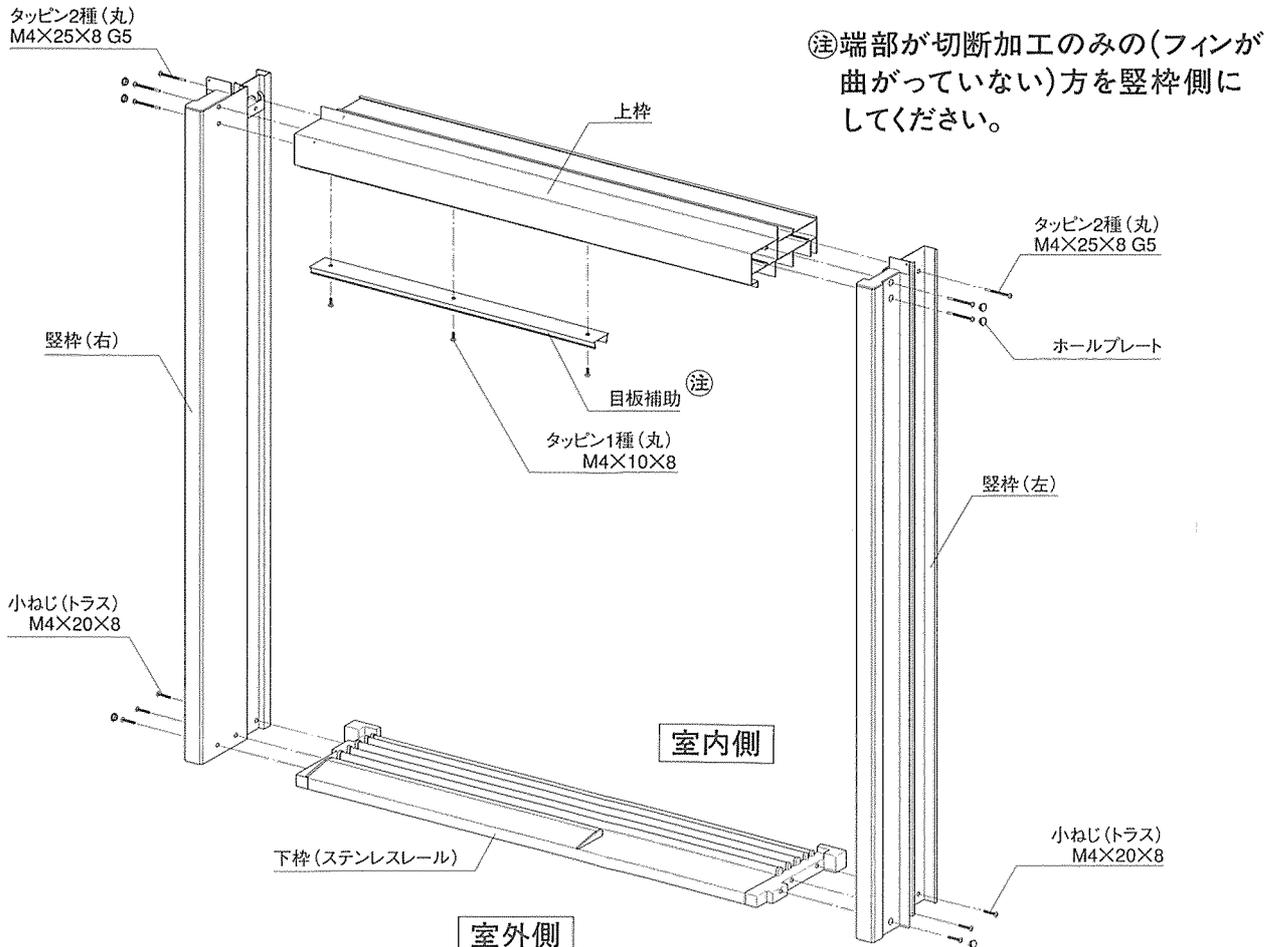
# 各部の名称



注) 本図は障子Aタイプの右勝手の場合を示しています。

# 枠の組み立て

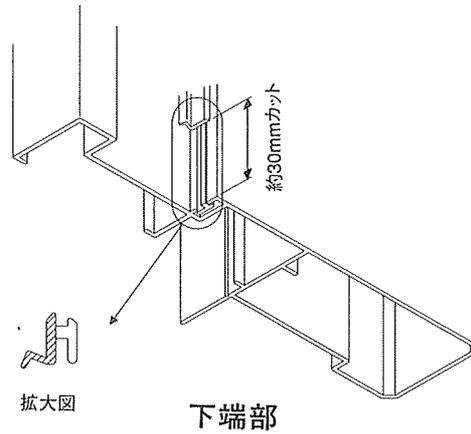
上枠には障子上り止め、縦枠には障子はずれ止めがついています。脱落のないよう確認し、組み立ててください。



注) 本図は右勝手の場合を示しています。



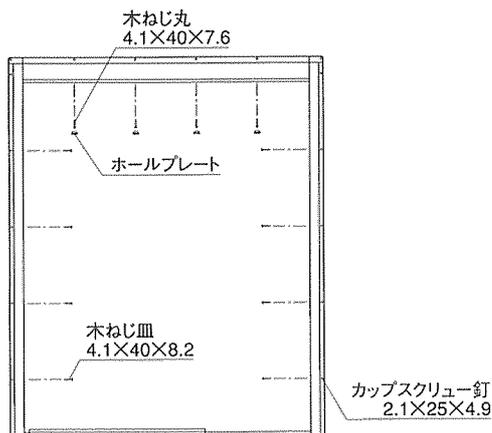
堅枠と下枠レールを接合する際は、堅枠タイト材ヒレ部を  
下端から約30mmカットしてから行なってください。  
(カット部は拡大図の斜線部です。)



## 躯体への取り付け

- 取り付け躯体の水平・垂直・対角を確認してください。
- 躯体に、枠を仮止めしてください。
- 下表の寸法検査項目に従って、寸法確認後、本固定してください。

検査項目	許容量 (mm)	検査器具	説明図
対角寸法	± 3 mm	巻き尺	
たいこ・つづみ寸法 <sup>⑨</sup>	± 2 mm	巻き尺	
ねじれ寸法	± 2 mm	巻き尺	



⑨許容量を越える場合には錠がかからなくなる恐れがあります。

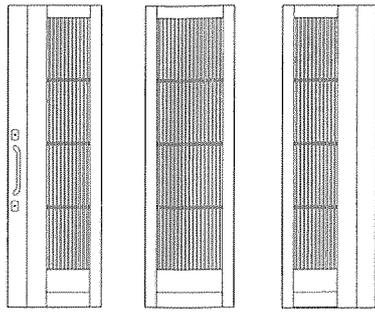
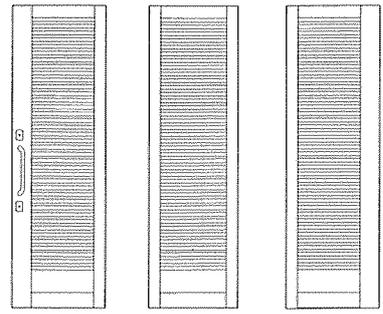
注) 躯体取り付けねじは 2 種類あります。

木ねじ丸 4.1×40×7.6(上枠用)

木ねじ皿 4.1×50×8.2(堅枠用)

## ガラス寸法

使用ガラスは厚さ4～6.8mmのものを  
使用してください。

		Aタイプ	Bタイプ
			
		障子(内) 障子(中) 袖Fix	障子(内) 障子(中) 袖Fix
ガラス寸法算出式 (小数点以下切り捨て)	障子(内) 袖Fix	$GW = (W - 779) / 3$ $GH = H - 362$	$GW = (W - 401) / 3$ $GH = H - 362$
	障子(中)	$GW = (W - 335) / 3$ $GH = H - 362$	$GW = (W - 335) / 3$ $GH = H - 362$

## 障子の組み立て

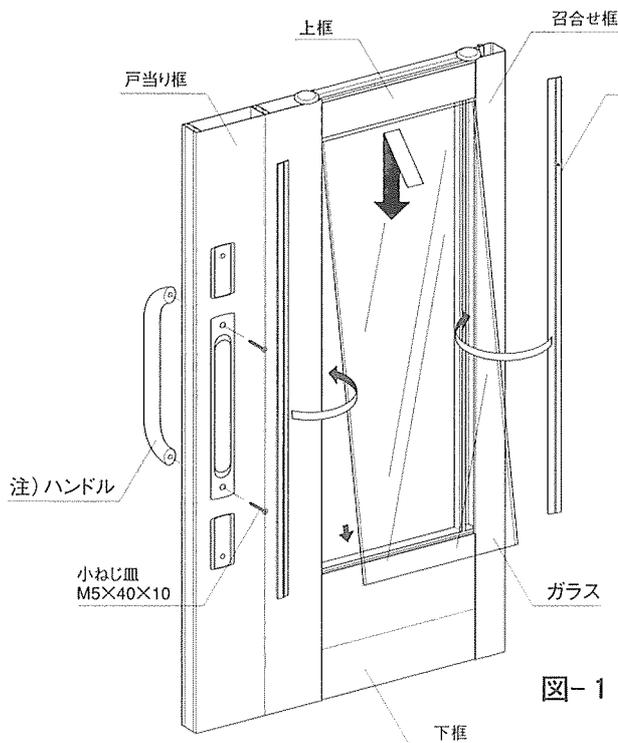
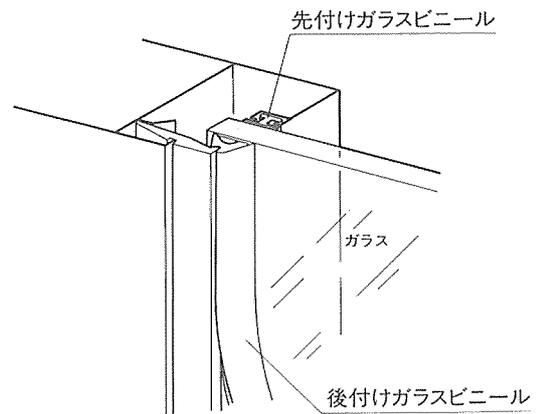


図-1

- ①押縁をはずし図-1のようにガラスを入れてください。
- ②押縁をガラスに押しつけながら入れてください。
- ③ガラスと框および押縁の間へガラスビニールを押し入れてください。



- ガラス厚6mm、6.8mmの場合、図-2のようにガラスビニールの斜線部分を手ではぎとってください。

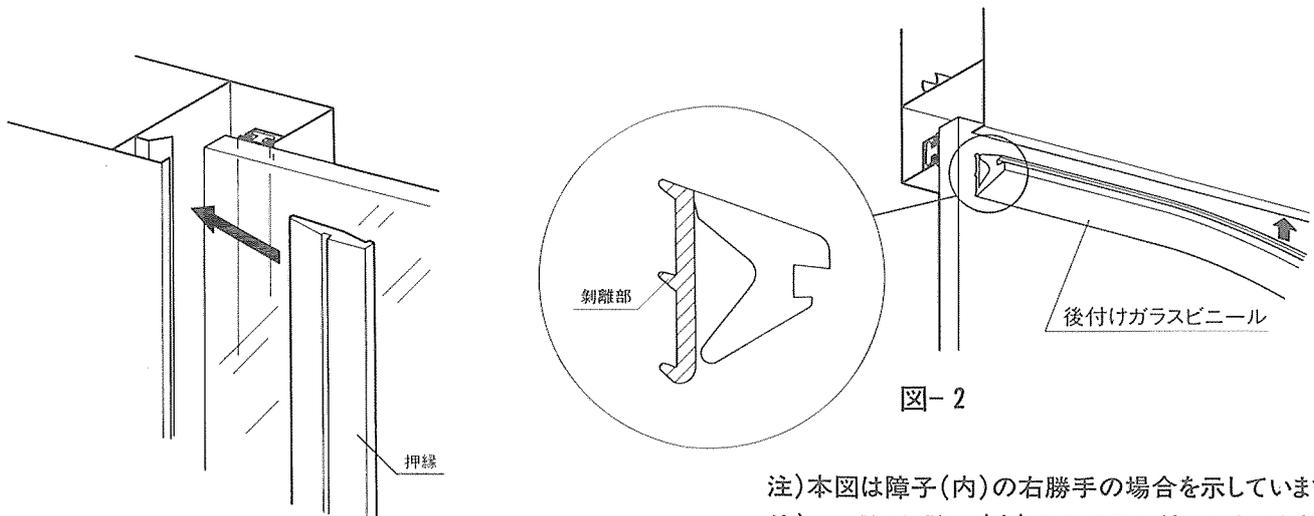


図-2

注)本図は障子(内)の右勝手の場合を示しています。  
注)ハンドルは障子(内)のみの取り付けになります。

# 袖Fixの建て込み

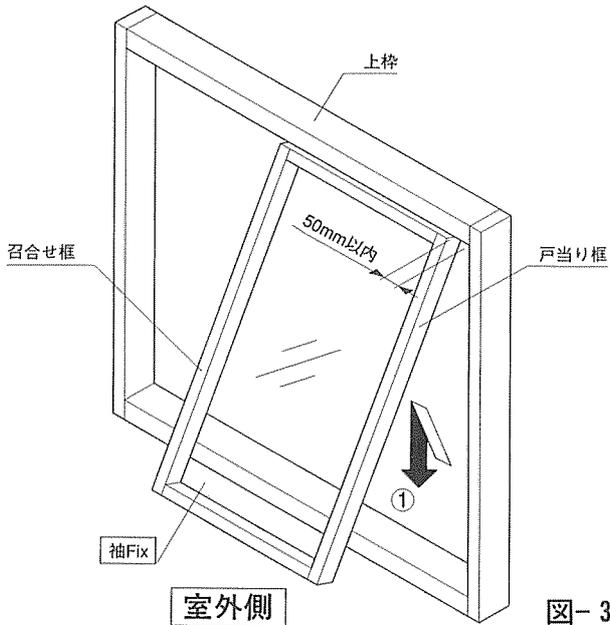
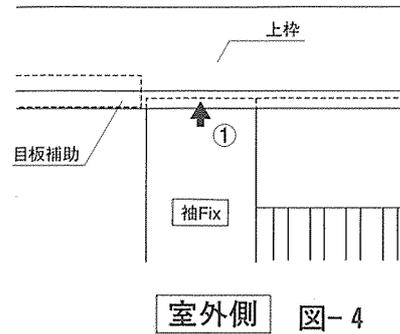


図-3

①袖Fixをケンドン方式にて建て込んでください。(図-3)  
 注) 上枠に取り付けた目板補助と干渉しない所(竖枠より50mm以内の所)で建て込んでください。(図-4)



注) 本図は右勝手の場合を示しています。

②召合せ框を持ち上げながら、竖枠のみ込み部へ押し込み(図-5)、召合せ框ホーロー内に下枠レールの位置決め具が入るように下へ落としてください。(図-6)

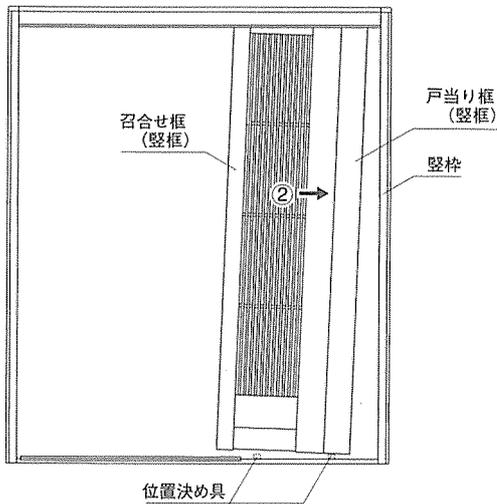


図-5

室内側

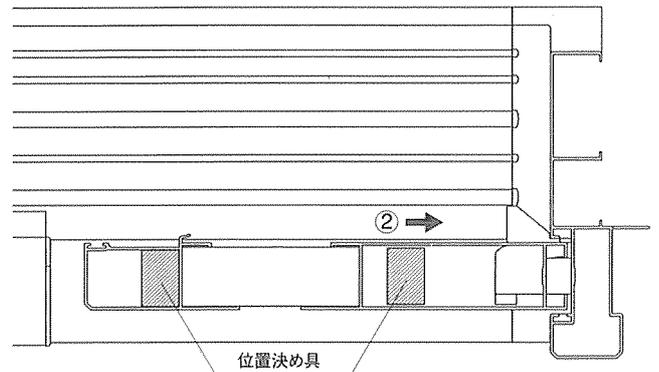


図-6

室外側

③召合せ框上部にある固定部品の上部ねじをはずし、下部ねじを切欠け(矢印方向)にそって動かすことで固定金具を上部に上げ、固定ねじにて必ずねじ止めしてください。(図-7)

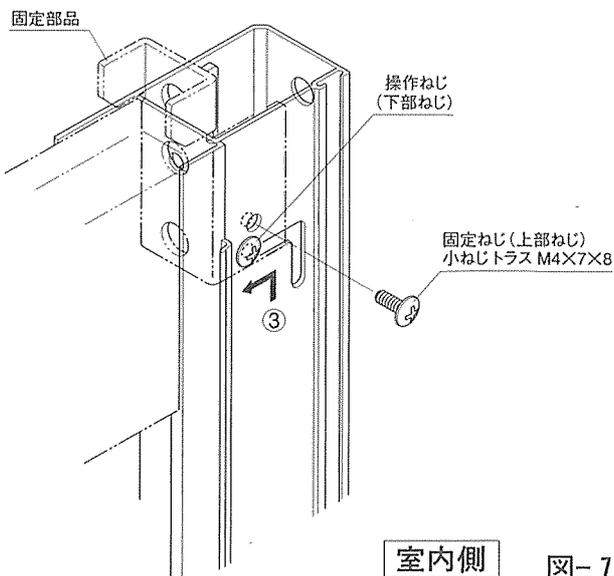


図-7

室外側

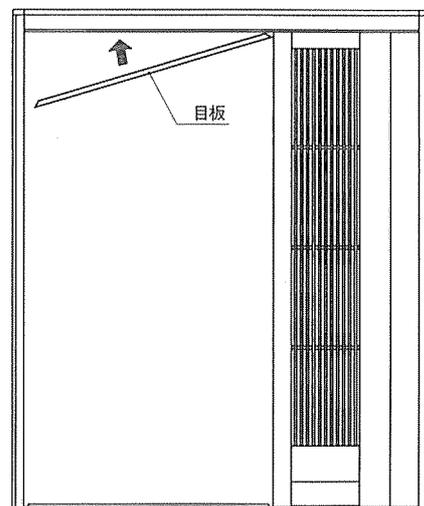


図-8

注) 本図は右勝手の場合を示しています。

④袖Fixを竖枠に押し当てた状態で上枠に目板をはめ込んでください。(図-8)

注) ホールプレート(穴加工)のある側を袖Fix側にして取り付けてください。

注) 本図は右勝手の場合を示しています。

注) 本図は右勝手の場合を示しています。

## 障子の建て込み

室内側より障子(中)→障子(内) (ハンドル付)の順でケンドン方式にて建て込んでください。

①障子(中)の建て込みは袖 F i x の召合せ框が障子(中)の中央となる位置で行なってください。(図-9)

注) 障子止部のローラー振れ止めと、上枠の上がり止めが、干渉しないように注意し、建て込んでください。

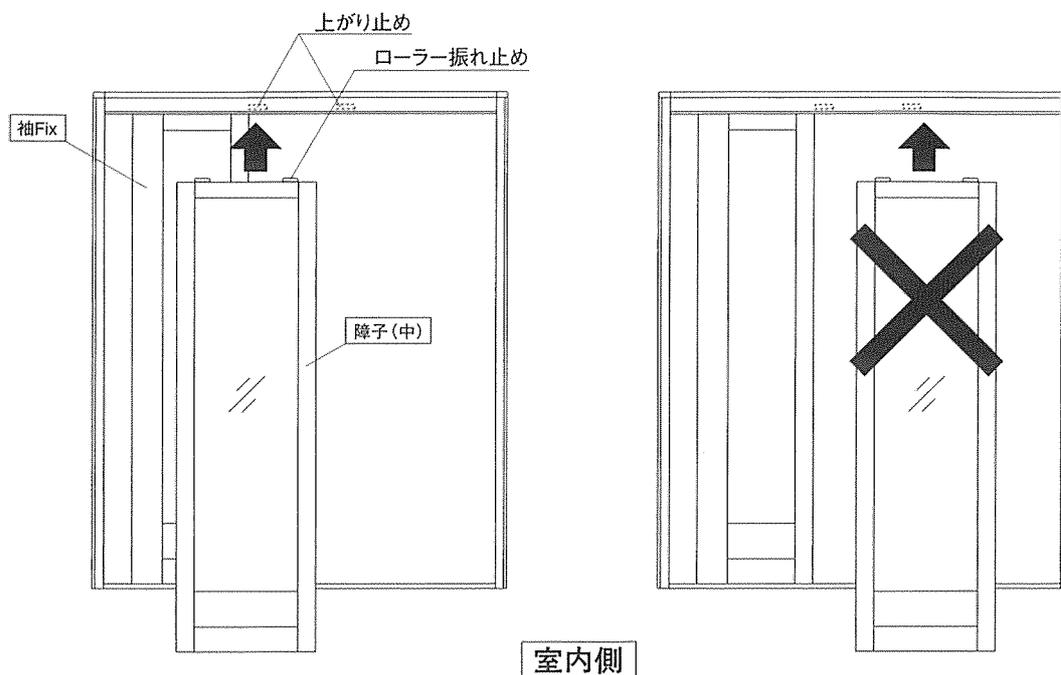
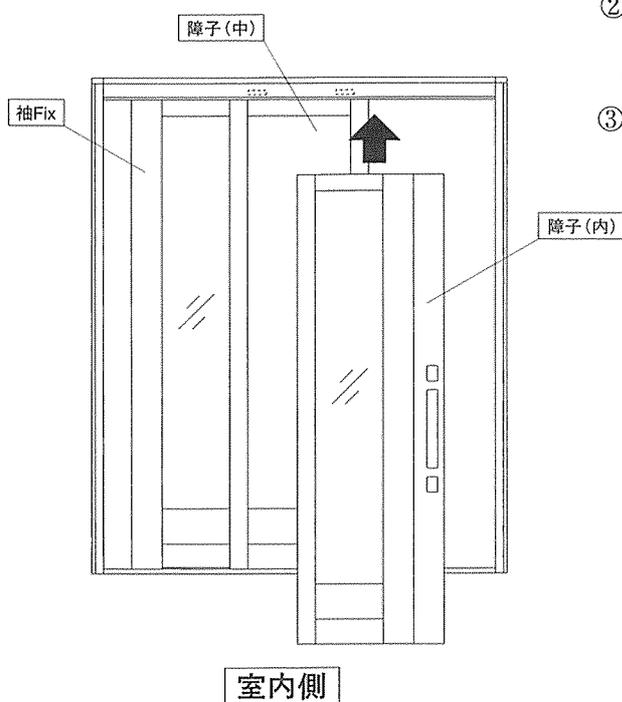


図-9

室内側

注) 本図は右勝手の場合を示しています。

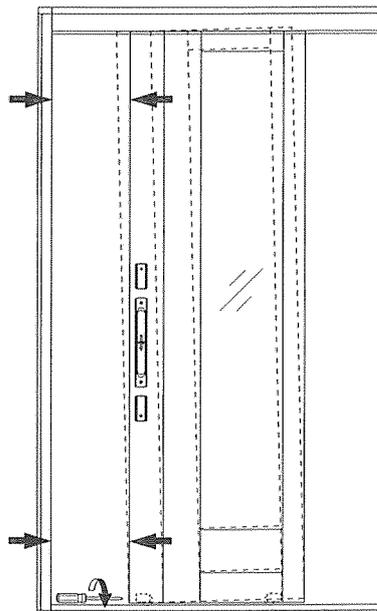


室内側

- ②障子(内)の建て込みは、障子(中)の召合せ框が障子(内)の中央となる位置で建て込んでください。(図-10)  
(召合せ框の煙返しをかみ合わせる為)
- ③建て込み後、障子(内)、障子(中)がスムーズに連動して開閉することを確認してください。

図-10 注) 本図は右勝手の場合を示しています。

## 戸車の調整(建て付け調整)



室内側

図-11

- 図-11のように縦枠と戸当り枠が平行になるように戸車高さを調整してください。図-12のように戸当り枠側の戸車高さを高くする場合、戸当り材ストッパー穴へ⊕ドライバーを差し込み、右へ回して調整してください。

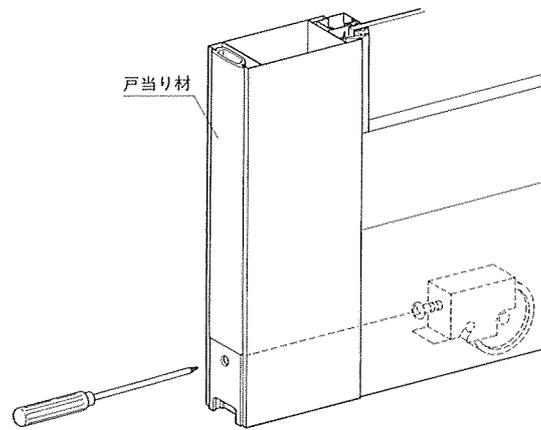
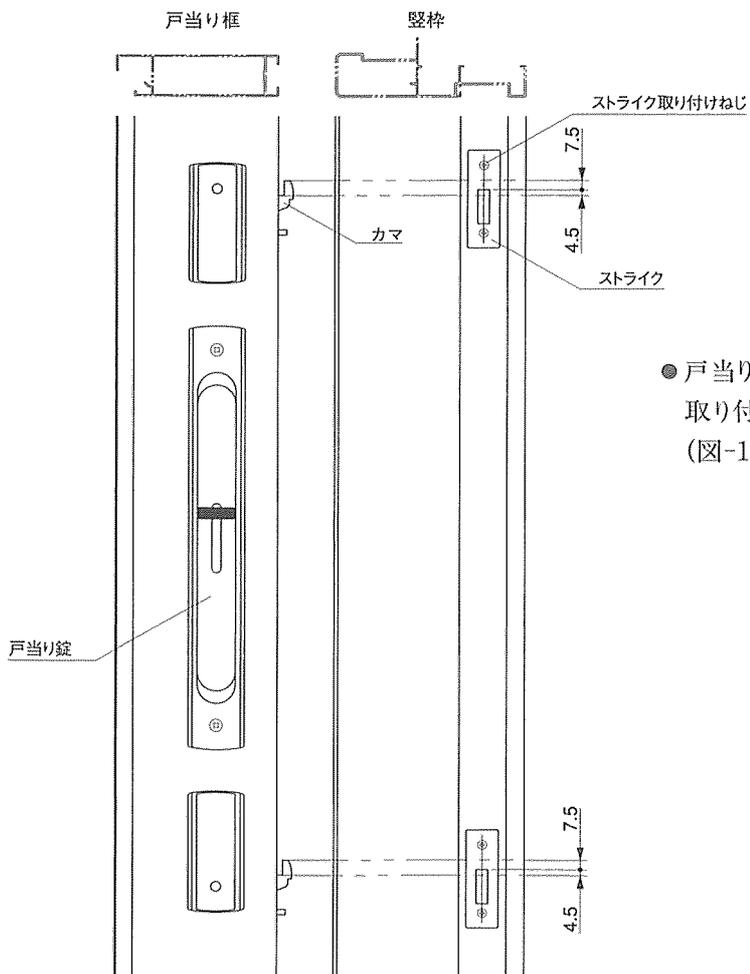


図-12

## ストライクの調整



室内側

図-13

- 戸当り錠がかかりにくい場合には、縦枠についているストライクを取り付けねじをゆるめることで、上下にずらし、調整してください。(図-13)

注) 本図は右勝手の場合を示しています。

